

## 社団法人 茨城県放射線技師会 I N F O R M A T I O N

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫  
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

### 《 年 頭 の 挨拶 》

会長 横田 浩



明けましておめでとうございます。

昨年は、iPS細胞のご研究により京都大学の山中先生がノーベル賞に輝き、久々に我が国の医学界が世界中から注目された年でもありました。また、年末には衆議院が解散し慌ただしい年末でしたが、会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、ここ数年来の懸案事項でありました会員減少問題ですが、一昨年から解消されつつあり増加傾向が見られるようになりました。全国的にはまだ減少傾向にあるなかでの会員増加は、ひとえに皆様のご支援とご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

公益法人への移行問題につきましては、平成20年5月に開催した定期決算総会において公益法人への移行をご承認いただいた後、公益法人準備委員会を中心に定款改正及び諸規定の見直しを行い、県庁医療対策課のご指導をいただきながら平成24年1月に申請を済ませました。現在、返答待ちではありますが、今年度中には公益法人を取得できるであろうとの回答も頂いておりますので、出来れば、5月に開催予定の茨城県放射線技師会創立65周年記念式典に、公益社団法人移行記念式典を併せて開催出来ればと考えております。公益法人としての認定は、職能団体としてさらに社会的信用度を高める事になると思います。

2010年4月に発せられた厚生労働省医政局長通知による、「診療放射線技師による読影の補助と放射線検査等に関する説明と相談について」は、読影の補助に関する講習会を茨城県立医療大学の先生方の協力を得ながら開催し、好評を得ております。今後も講習会を継続し、他県の活動状況等も参考にしながら、放射線技師に必要な読影力について考えてまいりたいと思います。

放射線検査等に関する説明と相談については、ホームページにある会員用の資料ダウンロードから、「医療スタッフのための教育訓練」を参考にして頂ければと思います。この資料は、管理委員会で医療スタッフの教育訓練用に作成したのですが、患者さんへの説明と相談に有効と考えますので是非ご活用下さい。

日本診療放射線技師会に関することでは、平成24年7月から全会員が賠償責任保険に加入する制度を開始しました。この制度は、加入手続および保険料払込みを日放技が行い、会員が自動的に保険に加入する制度で、会員の安全が担保されるようになりました。また、今年も放射線技師の業務拡大に関する講習会や基礎講習の開催等、茨城県放射線技師会としても、基調を合わせて協力してまいります。

本年も、会員の皆様のご要望に答えられるような活動を展開し、益々の会員増加を目指したいと思いますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

2013年1月元旦

## 《 お 知 ら せ 》

### 1. 第 15 回常陸水戸

#### 画像診断研究会の案内

謹啓 皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 15 回常陸水戸画像診断研究会を下記のとおり開催致しますので御案内致します。

日時：H25 年 1 月 12 日（土）14：00～

会場：茨城県立中央病院災害医療センター

年会費：医師 ¥1,000、技師その他 ¥500

特別講演

『エビデンスに基づいた血管エコー評価法』

関西電力病院 佐藤 洋先生

### 2. 講習会の案内

#### 1) MRI 基礎講習

平成 25 年 1 月 20 日（日）

茨城県総合福祉会館 4 階 中研修室

#### 2) 医療画像情報精度管理士移行講習会

平成 25 年 3 月 3 日（日）13：00～16：15

茨城県立医療大学 中講義室

詳細は事務所へ問合せください。

## 《 行 事 報 告 》

### 1. 水戸腹部超音波診断研究会学術講演会/第 88 回超音波研究会報告書

9 月 14 日（金）水戸医師会館 講堂において兵庫医科大学 超音波センター長 飯島尋子先生から“腹部超音波検査の最新情報”というテーマでご講演頂きました。

これまで検者の腕や経験によって病変の描出に違いが出る検査が超音波検査とも言われていたが、コンパウンド処理など B モード画像の進歩によって最近では一概に言えなくなってきたとのこと。コンパウンド機能によって内部の観察は容易になり B モード診断は組織に迫る可能性がある反面、肝実質診断には注意を要するとのことでした。

参加者 62 名（内 診療放射線技師 22 名）

### 2. ピンクリボンフェスティバル開催報告

10 月 13 日（土）、つくばピンクリボンフェスティバル 2012 が、ショッピングモールつくばイーアスで茨城県放射線技師会の共催で開催されました。午後からは啓発イベントがイーアス 3 階で開催され、茨城県放射線技師会で

は放射線展を開催して県民に放射線技師会をアピールし、乳がん検診の受診を訴えました。

技師会からは 9 名の会員が早朝よりウォーク・放射線展での説明員として参加し、フェスティバルの成功に大きく貢献しました。

（坂井朋夫）



### 3. 読影の補助に関する講習会報告

10 月 13 日（土）、県立医療大学の阿武先生を講師に迎え読影補助に関する講習会が行われました。チーム医療における診療放射線技師の役割や臨床画像においてどの点に着目すべきか、また、実際の臨床現場においてどこまで医師に助言していいのかなどに関して講演いただきました。

厚生労働省からのチーム医療推進の中でも画像診断における読影の補助や放射線検査等に関する説明・相談などに診療放射線技師の活用を促すとの指針が出されています。それに答える為には、病態・機器に関する知識を深め、高い専門性を前提に質が高く、安心・安全な医療を提供する事が重要だと感じられました。

（土浦協同病院 櫻井常男）

### 4. 除染訓練報告





10月13日(土)茨城県立医療大学において除染訓練を実施しました。地域貢献の一環とした、土壌等の除染の意義や方法、管理について茨城県立医療大学佐藤齊先生に、講義と演習を頂きました。参加人数は15人でした。

## 5. 日本放射線技師会主催

### 診療放射線技師女性サミット報告

10月20日(土)～21日(日)日本放射線技師会診療放射線技師女性サミットに参加したので報告します。参加者52名、晴海グランドホテルにて開催されました。

燕労災病院 中央放射線部長 岩本芳子先生による『女性技師と管理職～現職の立場から～』、結城朋子委員による紹介『女性の活躍促進ポジティブアクション』、女性が中心の活動として神奈川県・茨城県・香川県・鹿児島県・奈良県・千葉県等の6県が活動を紹介しました。茨城県は、レディース委員会を昨年度で解散致しましたので、解散書に基づいて、活動写真などを含めてプレゼンテーションさせて頂きました。(小仁所 圭子)

## 6. 撮影技術研究会講演会報告

10月27日(土)ひたちなか総合病院にて、今年度の第1回講演会を開催しました。テーマは「最近の医療動向と医療情報システムの流れ」と題し、12名の参加が得られました。

クラウドコンピューティング型の医療画像の院外保存サービスについては、質問が集中し、活発な意見交換が行われました。デジタル化が進み、データの大容量化によって、サーバの購入やメンテナンスなど病院の負担が増大し、また震災後に医療用データの紛失を防ぐ方法でのバックアップの重要性が高まっており、今後医療現場への普及が加速しそうです。(文責 早川)

## 7. 第1回放射線治療技術研究会開催報告

11月3日(土)つくばセントラル病院において、今年8月より新規オープンしたサイバーナイフセンターの施設見学を兼ねて研究会を開催しました。

内容は(株)アキュレイのサイバーナイフの特徴・性能について。(株)ユーロメディテックより高精度放射線治療の固定具についての講演。施設見学です。他施設を見学することは参加者にとって刺激になり、良い情報交換

の場になりました。今後とも施設見学と講演をセットにした形で、様々な情報を提供することを目指していきたいと考えています。参加者数35名(会員8名、非会員7名)



## 8. 第89回 超音波研究会 報告書

11月9日(金)、水戸済生会総合病院 丹野ホールにて開催しました。参加者29名。今回はテーマを“下肢静脈エコーの基本走査を学ぶ ～代表施設の走査方法実演～”とし、講義とライブデモを行いました。

会員からは“下肢深部静脈血栓症の標準的超音波診断法”についてと、各々の施設の基本操作法を実演していただきました。他施設の検査手技を直接見学する機会は少なく、参加者にとっては、自施設の検査手技を確認したり見直したりするのに良いきっかけとなりました。(松下真嘉)

## 9. 聴覚障害者に関する講習会等報告

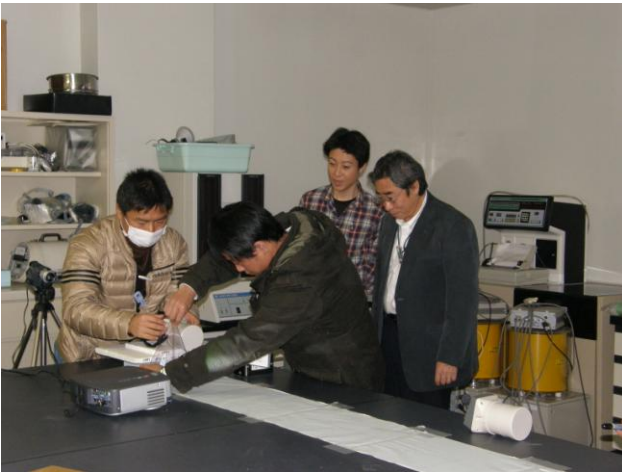
11月18日(日)、水戸赤十字病院にて、放射線科見学会と講習会を開催しました。講師に奈須田修氏(茨城県聴覚障害者協会)、鈴木聡子氏(茨城県手話通訳問題研究会)を迎え、聴覚障害者についてコミュニケーション方法や対応時の注意点を中心に講演いただきました。コミュニケーションが難しいからと、患者さまの知る権利よりも、画像を優先して黙って検査をすすめてしまいがちだが、お互いに歩み寄ってよい検査ができるようになればよいと思う。見学会参加者:33名(会員9名、内聴覚障害者10名、通訳4名) 講習会参加者:17名(会員9名、一般8名) (中野恵)



## 10. 放射線管理士部会事業報告

11月25日(日)に、平成24年度放射線測定器動作確認を県立医療大学で開催しました。各施設の電離箱式サーベイメータを使用し、取扱説明・基本操作の確認を行いました。今回は15施設26名(会員25名、非会員1名)の参加があり、参照標準線源 137Cs(γ線)を使用して、線源と測定器の距離(1m・2m)や高さをお互い確認しながら、各施設のサーベイメータの動作確認を行い、それぞれの校正定数を算出しました。今後も無料で校正できる機会を提供していきたいと思ひます。

(管理士部会 平野)



## 11. 第122回茨城県RI研究会開催

11月29日(木)茨城県総合福祉会館において第122回茨城県RI研究会を開催しました。内容は「みんな気になる臨床症例」と題して各施設から臨床症例を持ち寄って症例報告会を行いました。稀な症例を含めた症例検討会となり、撮像方法の工夫など活発な検討会となりました。また「放射性医薬品の投与量に関する疑問」と題してディスカッション形式で討論を

行いました。用意されたアンケートを基に各施設における投与量の現状把握を行いました。当日は平日にも関わらずメーカーを含め21名の参加があり盛況に開催されました。

(長谷川剛志)



## 12. 平成23年度CT研究会開催報告

11月29日(木)、つくば国際会議場にて、つくば画像検査センターの佐藤始広先生に「融合画像がもたらす新しい世界—PET/CTを中心に—」について講演していただきました。現在のPET/CTとなるまでの歴史、通常業務での撮影法、読影する際の注意点を含めた症例検討と、とても新鮮で大変ためになるお話していただきました。また、会員からは「腹部画像法について」と題し、造影法から最近注目されている画像再構成法の逐次近似法についてなど幅広い講演がありました。

参加人数：54名、(報告者 鈴木)

## 《 会 員 動 向 》

1. 現在の会員数……667名(12月現在)

2. 入 会

鈴木 美希 村立東海病院

上野 香織 筑波大学附属病院

## 《 編 集 後 記 》

新年明けましておめでとうございます。編集委員の奥山です。今年も様々な行事や研究会等、皆様の役に立つ情報をお届けしていきたいと思ひますので、積極的な参加、ご協力をよろしくお願い致します。

編集委員：小原孝夫(多賀総合病院), 齋藤哲也(土浦協同病院), 島田雅彦(水戸済生会総合病院), 水木一弘(筑波大学附属病院), 佐々木雅一(日立総合病院), 奥山寿恵(日立総合病院)